

1-3 北海道地方の上下変動

Vertical Movements in the Hokkaido District

国土地理院
Geographical Survey Institute

北海道で実施した水準測量の結果を報告する。第1図は様似町から門別町に至る上下変動である。1991年と1982～'83年の比較では、浦河町から三石町、静内町にかけて2～3cmの隆起がみられる。このような隆起現象は、1982年3月に起きた浦河沖地震(M7.1)の前に測量した結果と、似通ったパターンである。

第2図は、門別町から苫小牧市を經由して栗沢町に至る上下変動である。鶴川町から厚真町にかけて約10cmの地盤沈下が見られる。この辺りは、勇払平野の軟弱地盤で地盤沈下が生じ易い地域である。

第3図は、白老町から苫小牧市に至る上下変動である。白老町の一部で2cm程の沈下がみられる。

第4図は、浦河、室蘭、十勝港の各験潮場間の月平均潮位差の結果である。

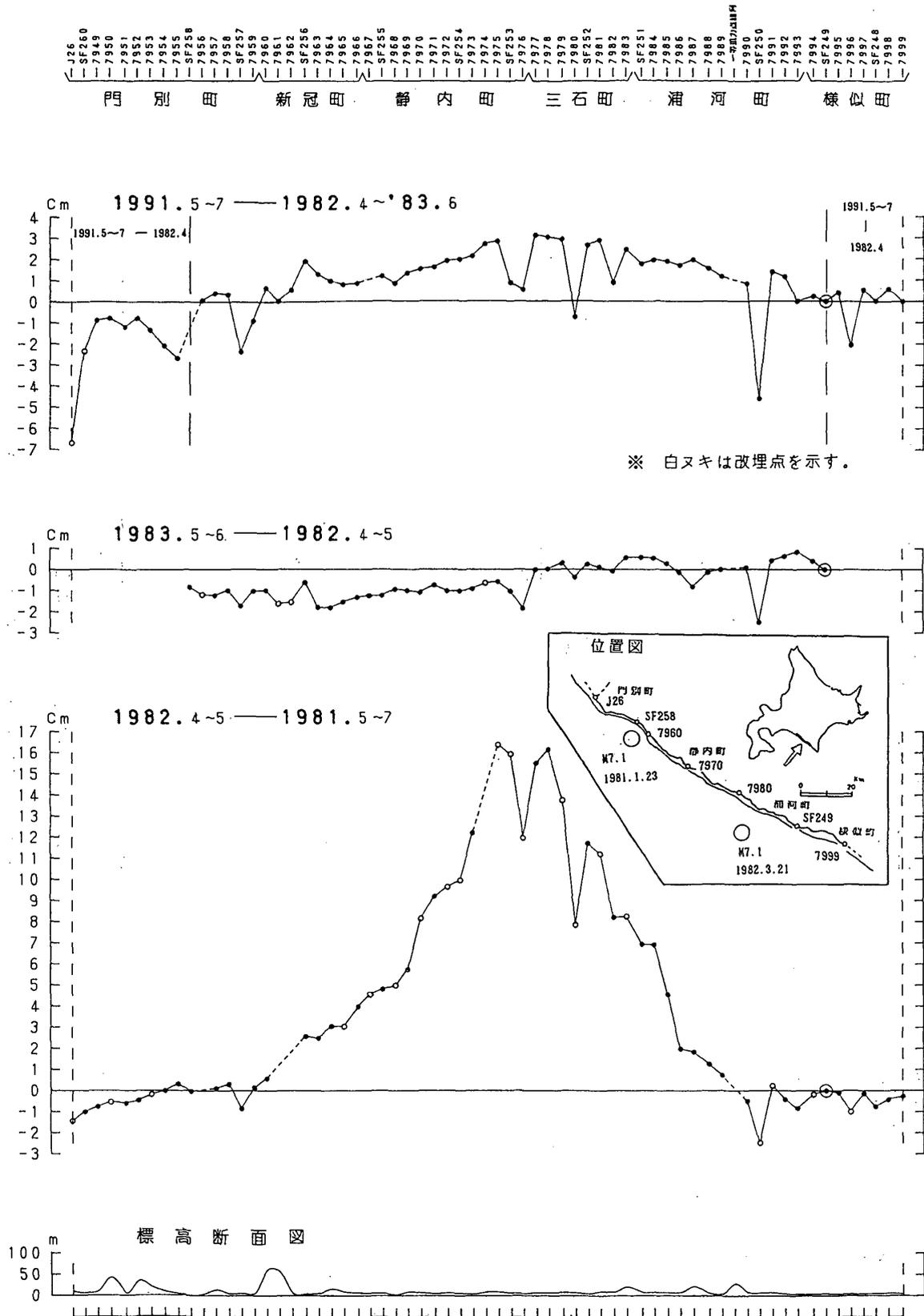
最近、月平均潮位差の結果からも、浦河の隆起が認められる。

第5図は、浦河と室蘭の月平均潮位差をスプライン曲線で近似したものである。この結果、1～2年程前から浦河が隆起していることが読み取れる。

第1図、第4図及び第5図の結果から、最近、浦河周辺で隆起が見られるため、今後の推移を注意深く見守る必要がある。

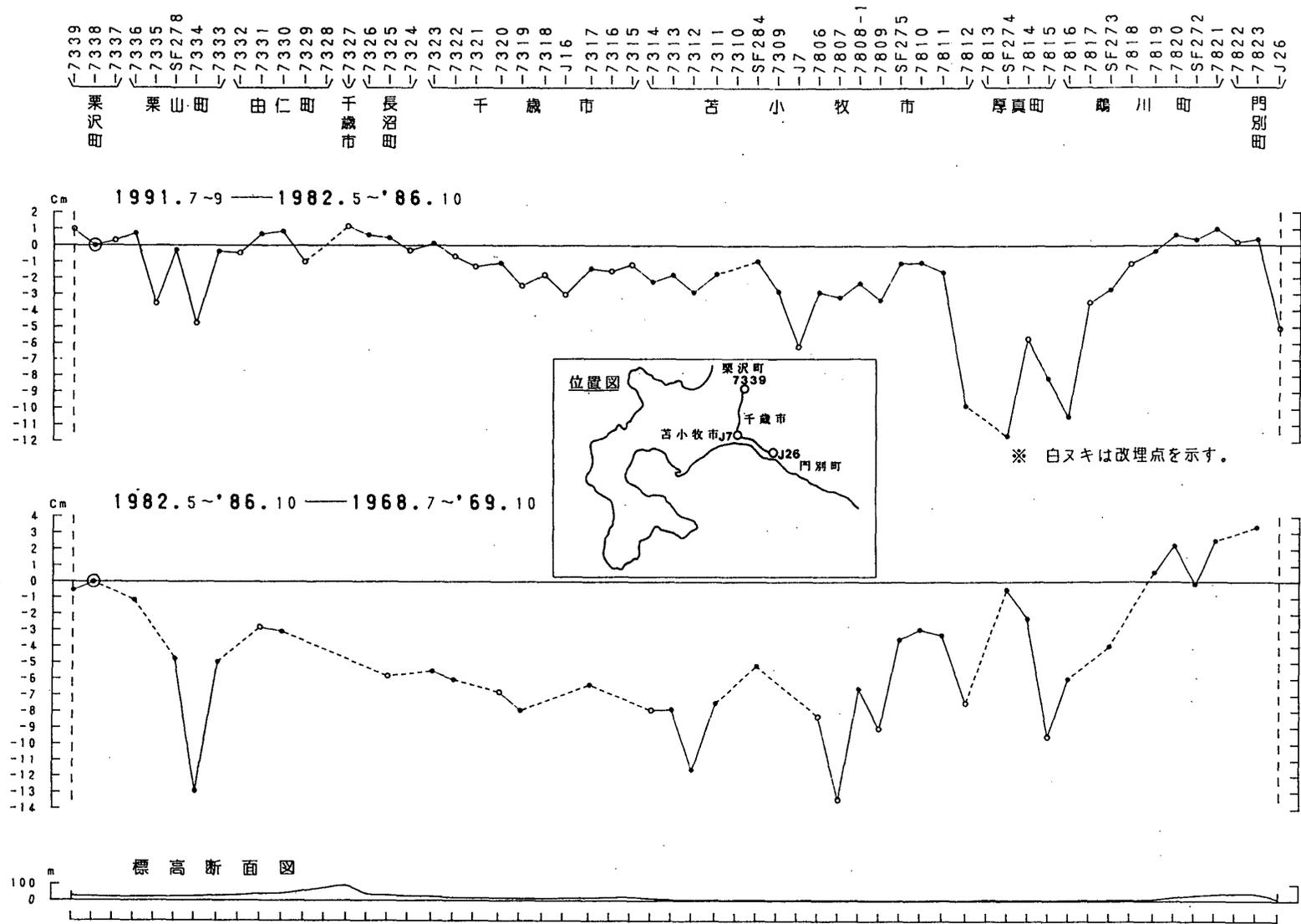
参 考 文 献

- 1) 国土地理院：北海道日高地方の上下変動，連絡会報，27(1982),17-18.
- 2) 国土地理院：北海道地方の上下変動，連絡会報，29(1983),4-6.
- 3) 国土地理院：北海道地方の地殻変動，連絡会報，31(1984),9-15.
- 4) 国土地理院：北海道胆振地方の上下変動，連絡会報，35(1986),12-15.



第1図 門別—様似間の上下変動

Fig. 1 Level changes along the route from Monbetsu to Samani.

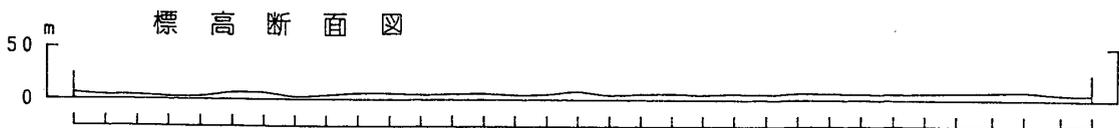
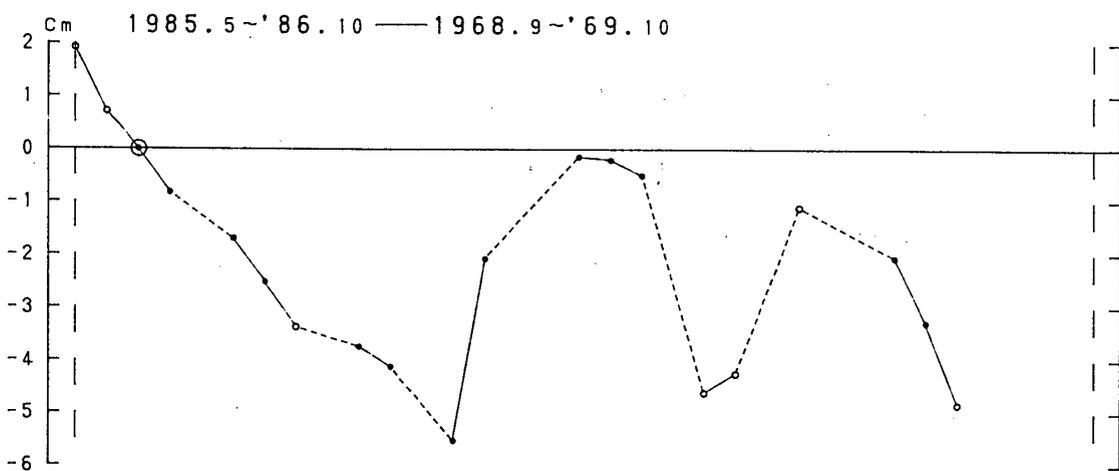
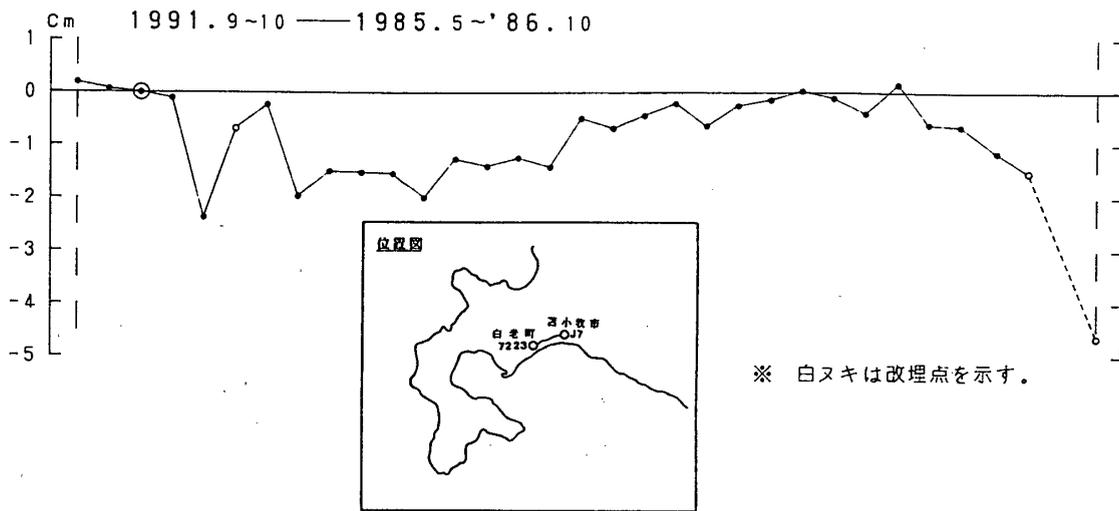


第2図 栗沢—門別間の上下変動

Fig. 2 Level changes along the route from Kurisawa to Monbetsu.

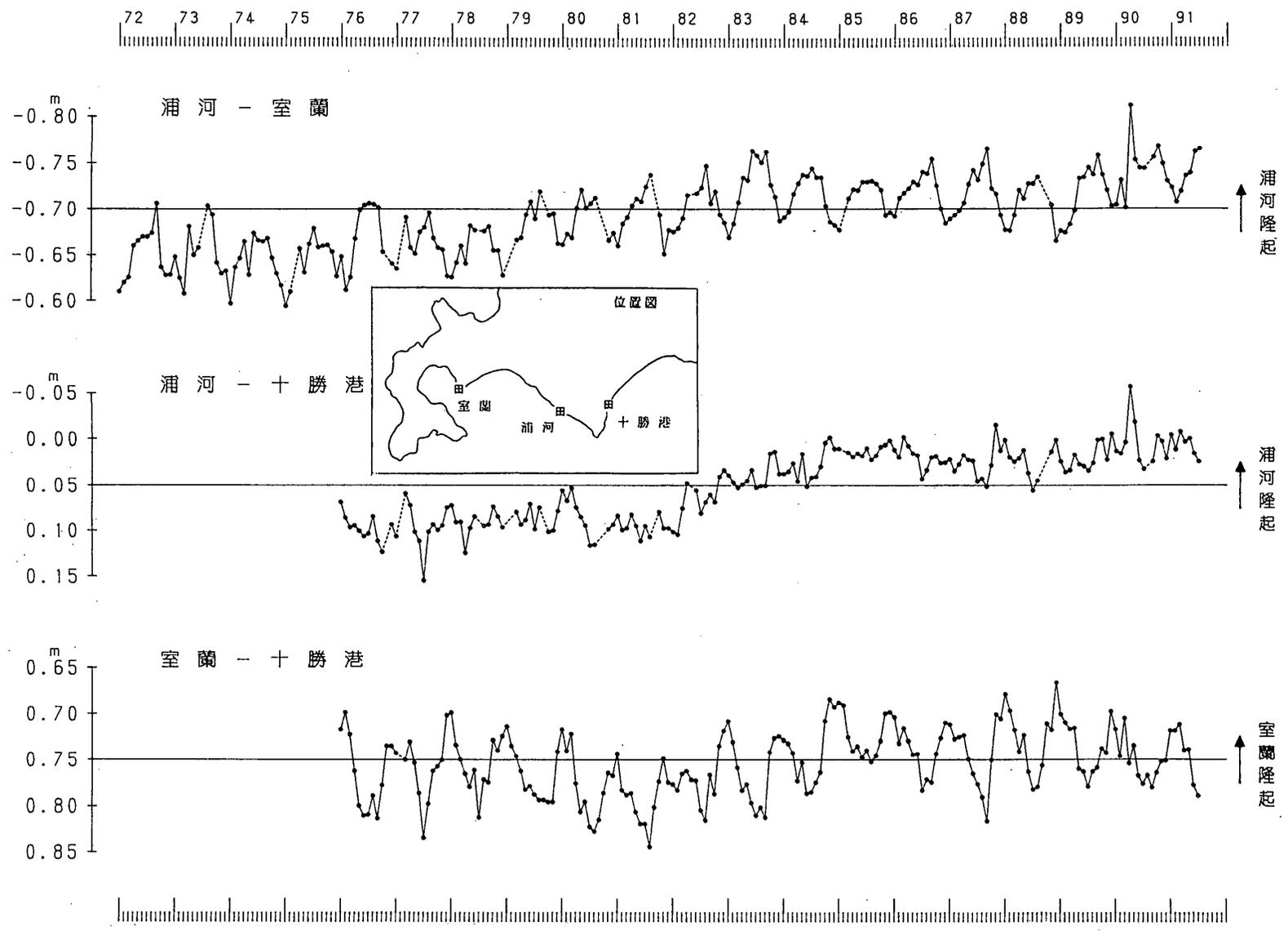
-7223
 -7224
 -SF343
 -7225
 -7226
 -7227
 -7228
 -7229
 -7230
 -SF342
 -7231
 -7232
 -7233
 -7234
 -7235
 -7236
 -SF341
 -7237
 -7238
 -7239
 -7240
 -7241
 -7242
 -7243
 -7244
 -7245
 -7246
 -SF285
 -7305
 -7306
 -7307
 -7308
 J7

白 老 冊 餅 小 牧 市



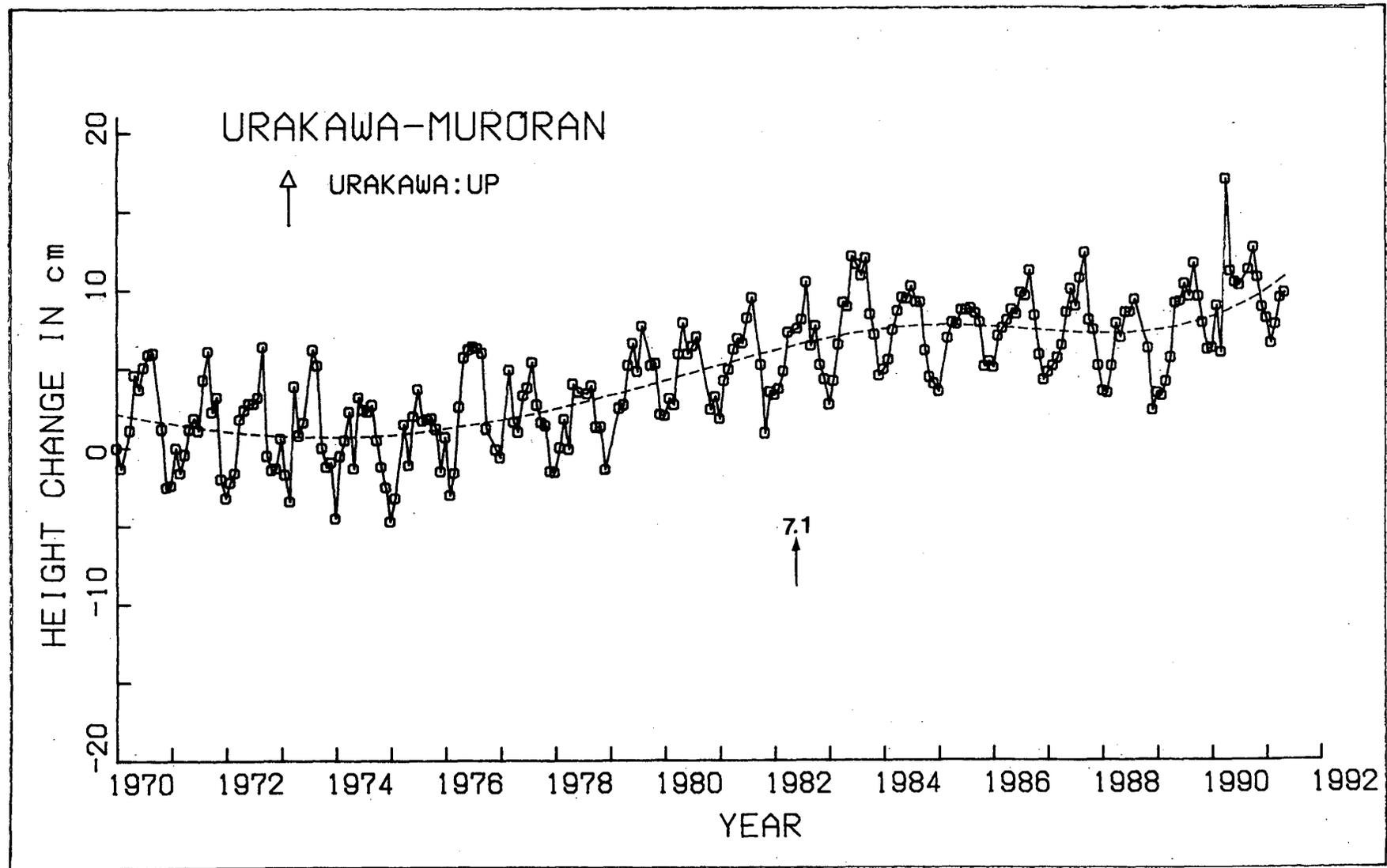
第3図 白老—苫小牧間の上下変動

Fig. 3 Level changes along the route from Shiraoi to Tomakomai.



第4図 浦河，室蘭，十勝港各験潮場間の月平均潮位差

Fig. 4 Differences in monthly mean sea levels between the Urakawa, the Muroran and the Tokachiko tide stations.



第5図 浦河と室蘭間の月平均潮位差 (スプライン関数近似)

Fig. 5 Differences in monthly mean sea levels between the Urakawa tide station and the Muroran tide station (interpolation with spline function).